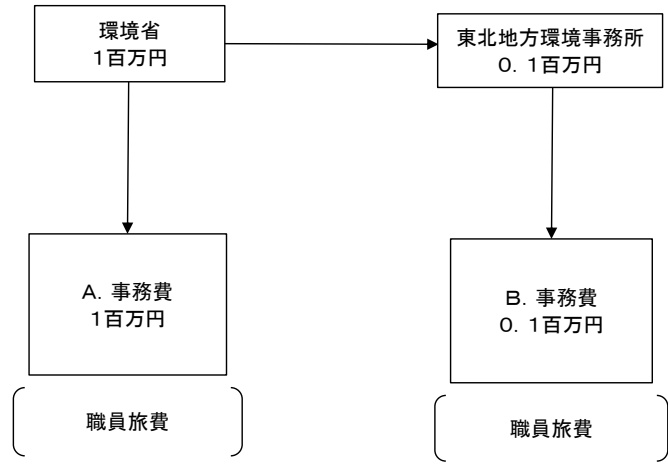


平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	小型電気電子機器リサイクルシステム構築社会実験	担当部局	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～	担当課室	企画課リサイクル推進室	室長	森下 哲		
会計区分	一般会計	施策名	4-2 各種リサイクル法の円滑な施行によるリサイクル等の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	東日本大震災からの復興の基本方針(H23.7.29東日本大震災復興対策本部) 5 復興施策(3)地域経済活動の再生①環境先進地域の実現 等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	小型電気電子機器のリサイクルを通じた東北地方における静脈ビジネスの活性化・雇用の創出・復興資材の供給をはかり、ひいては東北地方を循環型社会を基盤とした地域として復興・成長させることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	東北地方の参加可能な市町村が、任意で参加表明する。社会実験に参加表明した自治体毎に、ステーション回収・ボックス回収・ピックアップ回収等から回収方法を選択する。 自治体で回収した使用済製品は、1次集積所に保管され、ある程度量がたまるまで東北の中間処理業者に買い取られ、手解体・破砕され、最終的に東北の金属製錬業者により、貴金属・レアメタル等が徹底的に回収される。また、この事業により小型電気電子機器のリサイクルルートが整備され、その結果、災害廃棄物に含まれる小型電気電子機器のリサイクルも推進される。 これにより、東北地方の静脈産業が活性化され、東北地方の雇用が創出され、また、東北の復興に欠かせない金属材料が供給される。これと同時に、当該リサイクルシステムの構築に必要な環境整備事業を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	-
		補正予算	-	-	203	0	-
		繰越し等	-	-	-192	192	-
		計	-	-	11	192	-
	執行額	-	-	1	-	-	
執行率(%)	-	-	10	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	小型電気電子機器のリサイクルを通じた東北地方における静脈ビジネスの活性化・雇用の創出・復興資材の供給をはかり、ひいては東北地方を循環型社会を基盤とした地域として復興・成長させることを目的とするものであり、定量的な成果目標の設定が困難である。	成果実績					
		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	小型電気電子機器のリサイクルシステムを構築するものであり、定量的な活動指標の設定が困難である。	活動実績 (当初見込み)					—
単位当たりコスト	(円 /)		算出根拠				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	-	-				
	環境保全調査費	-	-				
	計	-	-				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業による小型電気電子機器のリサイクルシステム構築を通じて、3Rの具体化を図り、製造業とリサイクル産業をつなぐ先進的な循環型社会の形成を促進するものであり、「東日本大震災からの復興の基本方針」で示された施策に沿ったものである。 なお、不用額の大部分は総合評価入札による入札差額である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業による小型電気電子機器のリサイクルシステム構築を通じて、3Rの具体化を図り、製造業とリサイクル産業をつなぐ先進的な循環型社会の形成を促進するものであり、「東日本大震災からの復興の基本方針」で示された施策に沿ったものである。 なお、平成23年度第3次補正予算に基づく事業であり、同年度中に着手し、平成24年度にかけて実施しているところであり、当該事業に係る予算は平成24年度に繰越をしている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	当該事業については、平成23年度で廃止		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	－		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	復興－17

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		
B.					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人	小型電気電子機器リサイクルシステム構築社会実験に係る職員旅費	1	—	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人	小型電気電子機器リサイクルシステム構築社会実験に係る職員旅費	0.1	—	—